

北海道乳牛産地情報

(令和6年5月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	30~40	横這い	札幌管内の4月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で98.7%、苫小牧管内月計で97.3%の実績となっております。5月の初妊牛動向といたしまして、7月下旬~8月中旬の分娩中心となります。夏分娩中心の取引となることから、価格は軟調に推移すると予想されます。腹別の資源状況については、F1腹の割合が多く、雌雄選別腹の出回りが引き続き少ない状況です。経産牛においても、初妊牛の状況と同様に価格は軟調に推移すると見込まれます。育成牛について、道内での引き合いが強く、価格は横這いに推移するものと予想されます。
	初妊牛	55~65	弱含み	
	経産牛	40~50	弱含み	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	30~40	弱含み	根釧管内の4月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で102.5%、中標津管内月計で102.5%の実績となっております。5月の初妊牛動向といたしまして、7月下旬~8月中旬の分娩中心となります。初妊牛に関しては、需要が落ち込む夏分娩への移行により、価格は軟調に推移するものと見込まれます。腹別の価格としましては、F1腹の引き合いが強いことから、F1腹はやや堅調、雌雄選別腹や和牛受精卵移植腹は軟調な動きで推移するものと思われます。経産牛につきましては、道内需要により先月と同様に引き合いが強くなっております。
	初妊牛	55~65	弱含み	
	経産牛	50~55	横這い	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	37~47	横這い	帯広管内の4月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で100.1%の実績となっております。5月の初妊牛動向といたしまして、7月下旬~8月中旬の分娩が中心となります。需要が落ち込む夏分娩中心の資源が取引されることから、価格は軟調に推移すると見込まれます。腹別の資源状況について、夏分娩が出回り始め、資源が増加し、F1腹・雌雄選別腹共に十分に確保できる状況です。経産牛に関しては、初妊牛の状況と同様に全体の相場は軟調に推移することが予想されますが、産歴の少ない中クラス以上は道内での引き合いが強く、堅調な相場が維持すると見込まれます。育成牛に関しましては、来春分娩が期待でき、引き合いが強くなっておりますので先月同様に横這いに推移するものと見込まれます。
	初妊牛	55~65	弱含み	
	経産牛	50~55	横這い	
道北管内	育成牛(10-12月令)	35~45	横這い	道北管内の4月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で98.6%、北見管内月計で102.7%の実績となっております。5月の初妊牛動向といたしまして、7月下旬~8月中旬の分娩中心となります。今年の夏は全国的に昨年並みの猛暑が見込まれる予報が出ており、分娩時のリスクなどから需要が減ることが予測されます。そのため初妊牛相場は弱含みに推移すると考えられます。腹別の資源については、雌雄選別腹、F1腹共に確保できる状況です。経産牛に関しては、道内生乳生産抑制解除されたこともあり即戦力を求める動きが強く需要が高まっていますが、夏分娩の経産牛は動きが鈍くやや弱含みに推移すると見込まれます。育成牛に関しては、引き合いは強く先月に続き横這いに推移すると考えられます。
	初妊牛	53~63	弱含み	
	経産牛	45~55	やや弱含み	
道内総括	育成牛(10-12月令)	35~45	横這い	道内の4月中旬までの生乳生産量前年比は100.8%の実績となっております。道内では、春本番となり5月末より放牧シーズンを迎える時期となります。5月の初妊牛動向といたしまして、7月下旬~8月中旬分娩が中心となり夏分娩腹に移行することから相場は大きく軟調に動くことが予想されます。今年の猛暑の影響もあり、全国的に夏分娩に集中しており、都府県からの導入意欲も落ち着いている傾向が見られます。一方道内では、即戦力の経産牛の人气が高く、堅調に推移することが予想されます。夏分娩リスクもあるこの時期ですが、相場的には安価予想となりますので、導入計画がございましたら、ご希望の搾乳用素牛を庭先中心で購買しますのでご注文宜しくお願いいたします。
	初妊牛	55~65	弱含み	
	経産牛	50~55	横這い	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

札幌支所

☎011-241-0765

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

《各事務所電話番号》
釧路事務所 ☎(0154)52-1232
根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877
帯広事務所 ☎(0155)37-6051
道北事務所 ☎(01654)2-2368